

本学で地域医療実習を行った学生及び卒業生の皆様へ

本学では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる方々一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	本学の地域医療教育における学びの変化 ～実習報告書を用いた多角的分析～
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学医学部 医学部長 笠井謙次
研究責任者	（所属）地域総合診療医学寄附講座 （職名）教授(特任) (氏名) 宮田靖志
研究の対象となる方	2017年4月から2030年3月31日までに早期体験実習、クリニカルクラークシップA及びB、その他の地域医療に関わる院外実習に参加し、実習レポートを提出した学生
研究期間	研究実施承認日～2030年9月30日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的] 本研究の目的は、2017年4月以降に実施された本学の地域医療に関する実習において、実習後に提出された報告書を対象に、学生の関心領域や視点の変化を明らかにし、今後の地域医療教育の改善や教育効果の検証することにあります。教育カリキュラムの変遷や社会的背景の影響が学生の学びにどのように反映されているかを探索的に分析し、より効果的な地域医療教育の提供を目指すものです。</p> <p>[利用方法] 提出された実習報告書は、個人が特定されないように非識別化処理を行ったうえで、教育的効果や学習傾向を明らかにするために統計的手法や内容分析を用いて解析します。研究成果は集団としての傾向としてのみ公表され、個人が特定されることはありません。</p> <p>[外部への試料・情報の提供] 非該当</p> <p>[外部への提供開始日] 非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：実習終了後に学生が提出した実習報告書から、記載された学びや気づき、課題意識などの自由記述内容を収集します。あわせて、報告書の提出年度や実習施設の種別（診療所や病院）など分析に必要な基本情報も取得します。

提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2030年6月30日までにメール送信、電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	<p>愛知医科大学医学部 地域総合診療医学寄附講座 担当者：(職名) 准教授(特任) (氏名) 上松東宏 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 23470) uematsu.haruhiro.612@mail.aichi-med-u.ac.jp</p>